

麻布大学 学部学生の授業時間外の学修時間について

麻布大学では、授業科目の形式ごとに単位認定に必要な学修時間（1単位あたり）を次のとおり定めています。

- (1)講義： 授業15時間＋予習・復習30時間
- (2)演習・ゼミ： 授業30時間＋予習・復習15時間
- (3)実験・実習・実技： 授業45時間

したがって、学生が授業の「予習・復習」をどの程度行っているのか、毎年度、1年次及び卒業年次学生を対象に「麻布大学在学学生調査」の中で学修時間の調査を行っています。

また、授業の予習・復習以外に、学生がどの程度自主学修を行っているのか把握するため、以下の項目についても同様に調査を行い、大学として「学生の学修時間」の把握に努めています。

1. 単位認定に係る授業時間外の学修時間

- ▶ 授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする時間

2. 大学として把握に努める学修時間（2019年度調査～）

- ▶ 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする時間

■調査方法（麻布大学在学学生調査）

質問紙の学内配付・回収

対象：全学部の1年次学生及び卒業年次学生

（卒業年次学生：獣医学科は6年次学生，その他の学科は4年次学生）

- ※ 2019年度調査からは、一般社団法人大学IRコンソーシアムに加盟し、同コンソーシアム「学生調査」の共通調査項目を使用して麻布大学在学学生調査を実施しており、2018年度以前の調査と「質問」及び「回答方法」が異なります。

	2019年度		2018年度		2017年度	
	1年次	卒業年次	1年次	卒業年次	1年次	卒業年次
配付数	526	523	577	535	581	555
有効回収数	480	456	491	344	546	434
回収率	91.3%	87.2%	85.1%	64.3%	94.0%	78.2%
調査期間	2019年11月 8日～29日	2019年10月31 日～12月27日	2018年12月 10日～14日	2018年12月 10日～20日	2017年12月 4日～8日	2017年12月 5日～15日

■質問/回答方法

2019年度

質問

【1年次】入学以来、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

【卒業年次】今年度になってから、あなたは次の活動に1週間あたりどのくらいの時間を費やしましたか。

- 授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする
- 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする

回答方法

単一選択式

全然ない，1時間未満，1-2時間，3-5時間，
6-10時間，11-15時間16-20時間，20時間以上

2017・2018年度

質問

【1年次】あなたの通常の授業期間における平均的な時間の使い方についてお聞きします。あなたは以下の項目について、どの程度の時間を使っていますか。

【卒業年次】あなたのこの1年の通常の授業期間における平均的な時間の使い方についてお聞きします。あなたは以下の項目について、どの程度の時間を使っていますか。

（1週間当たりの平均時間）○授業の予習・復習時間

回答方法

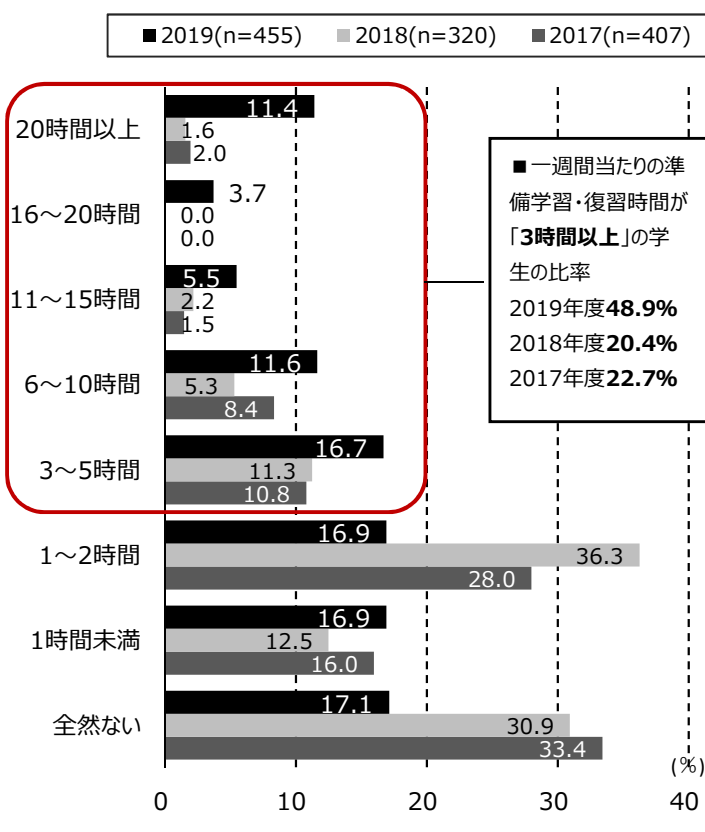
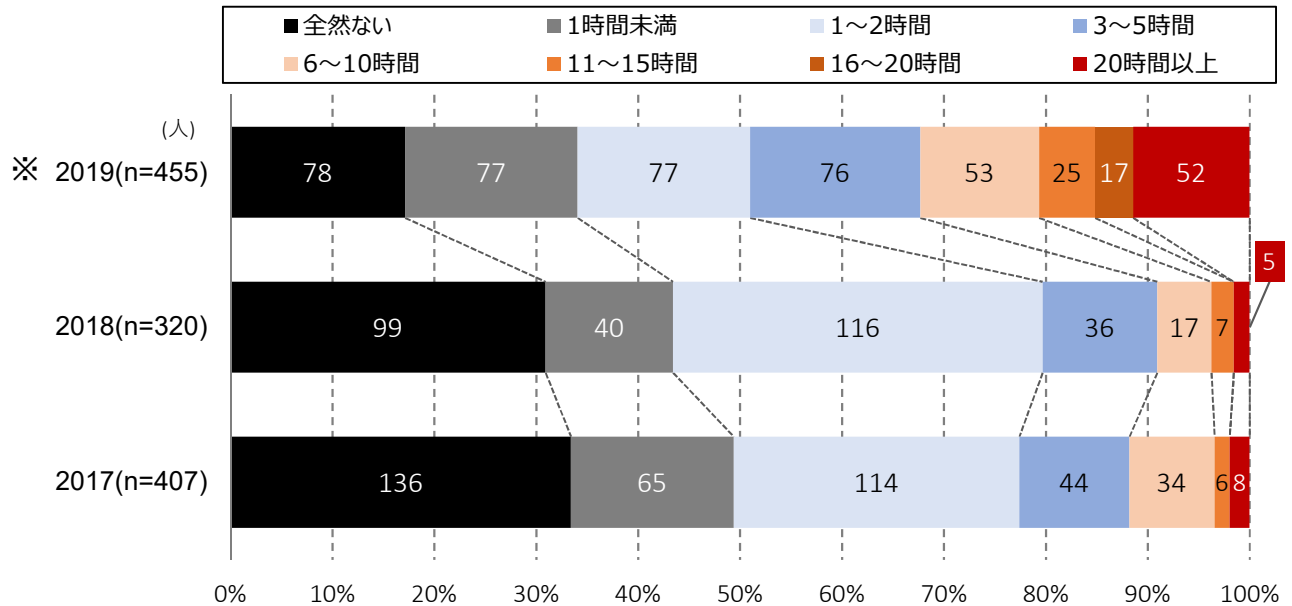
記述式

30分刻みで具体的な数字を記入する

1. 授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする時間（一週間当たり）

※2017-2018年度調査と2019年度調査では質問と回答方法が異なります。（詳細はp.1 参照）

1 - (A) 卒業年次



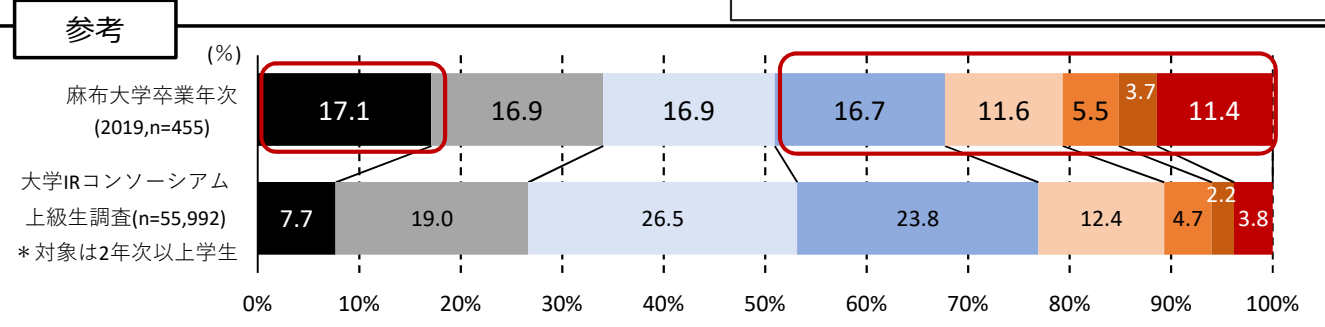
■ 2019年度、卒業年次学生の**48.9%**は、一週間当たり「**3時間以上**」、授業時間外に授業課題や準備学習、復習を行っていました。

■ 2019年度は2018年度までの傾向から変化し、卒業年次学生の準備学習・復習時間が比較的確保されています。

- ▶ 準備学習・復習時間が「**全然的ない**」学生が大幅に減少（2018年度比-16.1ポイント）
- ▶ 準備学習・復習時間が一週間当たり「**20時間以上**」の学生が大幅に増加（2018年度比+9.8ポイント）
- ▶ 2018年度までは、1週間当たりの準備学習・復習時間「**3時間未満**」の学生が8割を占めていましたが、2019年度は**51.1%**まで減少。

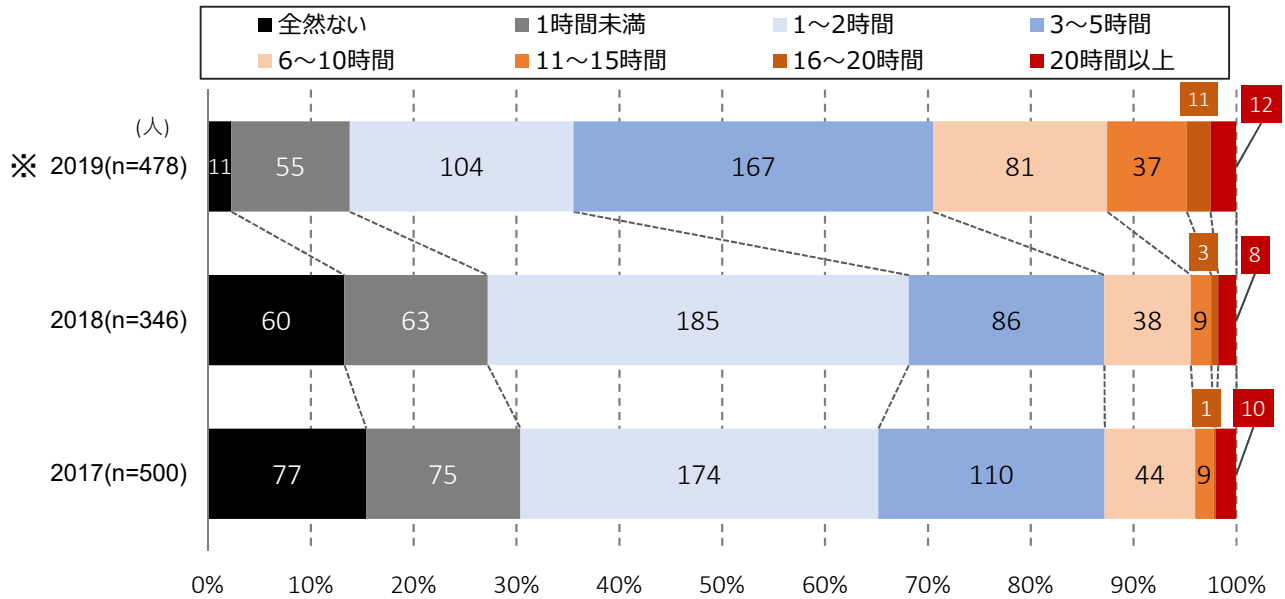
■ 本学が加盟する大学IRコンソーシアムの「学生調査：上級生調査」の結果（参考）と比較すると、準備学習・復習時間が一週間当たり「**全然的ない**」学生の比率は、本学の方が依然として高く、一方で「**3時間以上**」の学生の比率も本学の方が高くなっています。

- ▶ 準備学習・復習時間「**3時間以上**」
本学**48.9%**，IRコンソーシアム**46.9%**

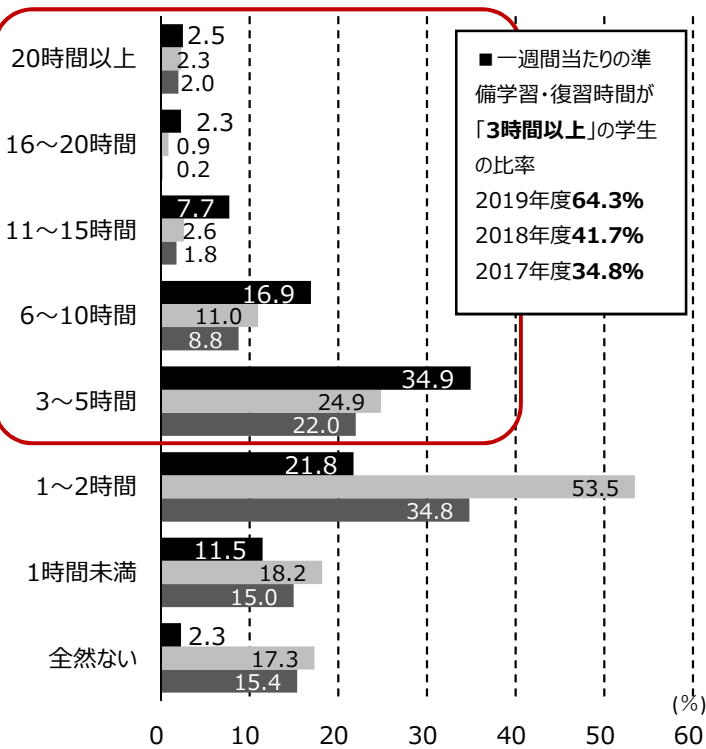


※2017-2018年度調査と2019年度調査では質問と回答方法が異なります。（詳細はp.1 参照）

1 - (B) 一年次



■ 2019(n=478) ■ 2018(n=346) ■ 2017(n=500)



■ 2019年度、一年次学生の**64.3%**は、一週間当たり「**3時間以上**」、授業時間外に授業課題や準備学習、復習を行っていました。

■ 2019年度は2018年度までの傾向から変化し、一年次学生の準備学習・復習時間が比較的確保されています。

▶ 準備学習・復習時間が「**全然的ない**」学生が大幅に**減少**（2018年度比-15.0ポイント）

▶ 準備学習・復習時間が「**1~2時間**」の学生が大幅に**減少**し、「**3~5時間**」及び「**6~10時間**」の学生が大幅に**増加**

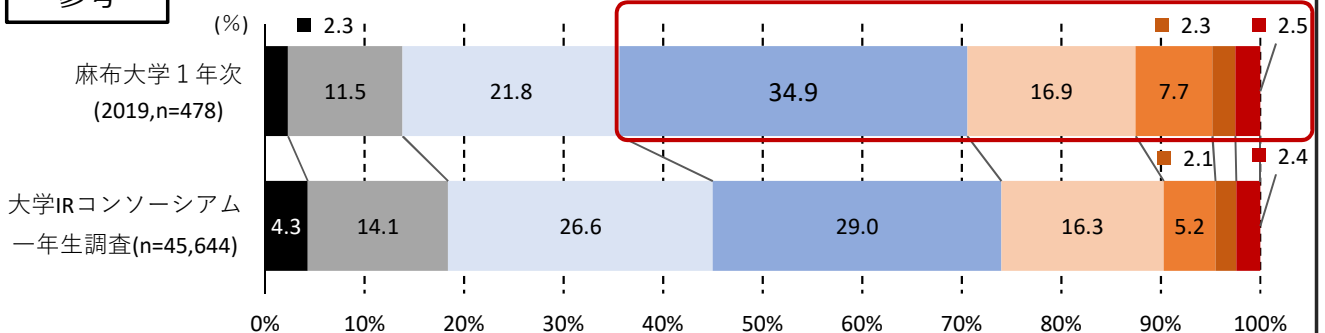
（2018年度比）1~2時間 -31.7ポイント
3~5時間 +10ポイント
6~10時間 +5.9ポイント

■ 本学が加盟する大学IRコンソーシアムの「学生調査：一年生調査」の結果（参考）と比較すると、準備学習・復習時間が一週間当たり「**3時間以上**」の学生の比率は本学の方が高くなっています。

▶ 準備学習・復習時間「**3時間以上**」

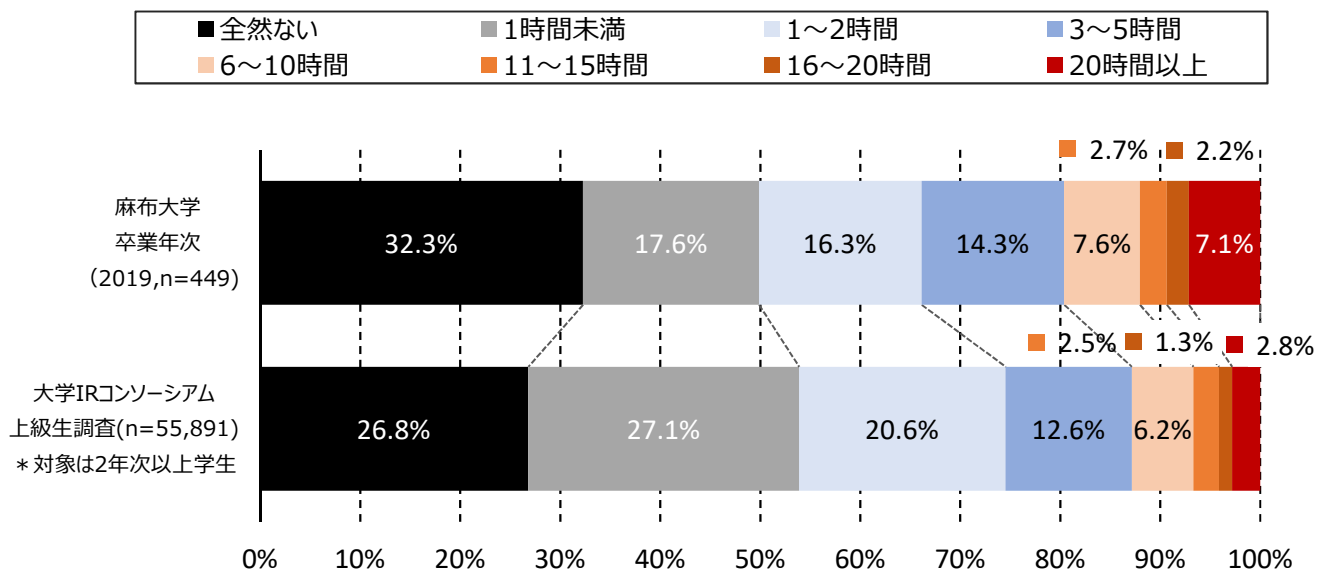
本学64.3%， IRコンソーシアム55.0%

参考

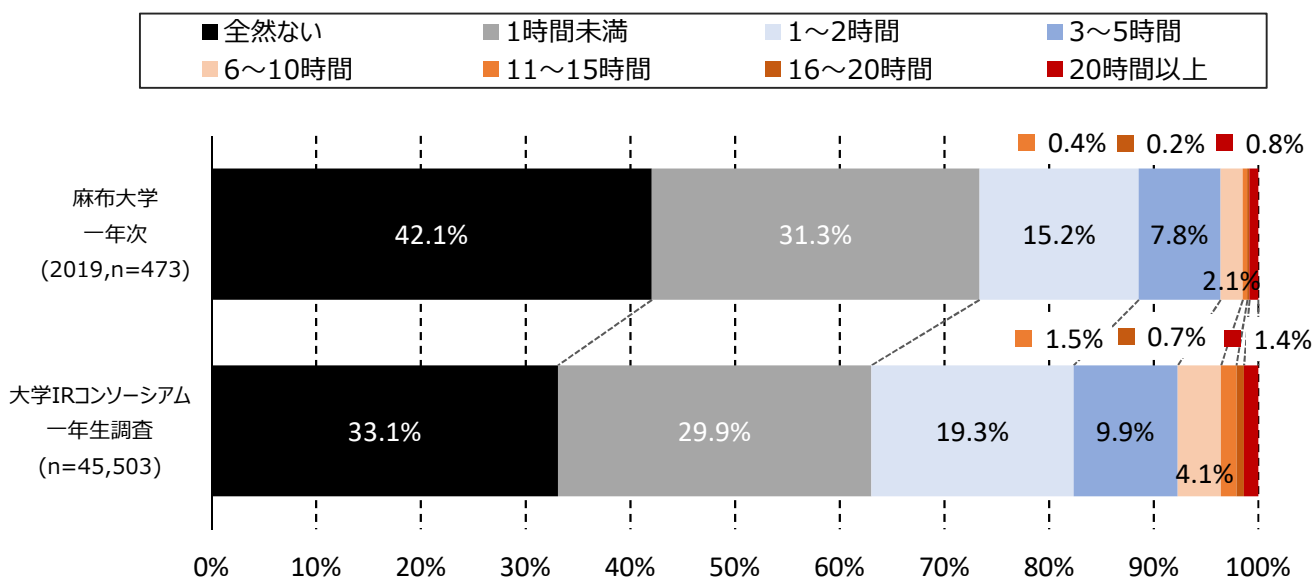


2. 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする時間（一週間当たり）

2-（A）卒業年次



2-（B）一年次



- 2019年度、卒業年次学生の**67.7%**、一年次学生の**57.9%**が、「授業時間外に、授業に関連しない勉強」を行っていました。
- 授業時間外に、授業に関連しない勉強をする時間については、一年次学生よりも授業数が減少する卒業年次学生の方が**多い**傾向です。
- 本学が加盟する大学IRコンソーシアムの「学生調査」の結果と比較すると、本学の卒業年次学生は、授業に関連しない勉強を一週間当たり「**1時間以上**」行っている学生の比率が高くなっています。一方で、一年次学生はこの比率が低くなっています。
- ▶ 授業に関連しない勉強の時間「**1時間以上**」
 - 本学卒業年次学生 50.2%、 IRコンソーシアム上級生調査 46.0%
 - 本学一年次学生 26.5%、 IRコンソーシアム一年生調査 36.9%

■ 引用資料：一般社団法人大学IRコンソーシアムIRシステム運用部会

『「一年生調査2019年」「上級生調査2019年」基礎集計結果』2020年8月28日発行